

第17期 第2回 砂防公開講座 実施報告 《河川環境と砂防施設》

平成25年9月27日(金)第2回砂防公開講座 ～参加者20名～

砂防公開講座とは、土砂災害・地すべり・火山災害から暮らしを守る砂防事業を肌で感じ、知識と理解を深めて、防災について学ぶ講座です。

開 講 式



室内講義「群馬県水環境健全性指標を用いた河川環境調査方法について」



★室内講義の様子



群馬県衛生環境研究所
水環境・温泉研究センター
高坂 真一郎 氏

野外学習 「河川環境調査の実践」

★透視度計を用いて測定



★根利川にて河川環境調査

★群馬県水環境健全性指標を用いた河川環境調査とは★

「河川環境」を水質だけでなく、幅広い要素から評価するもの。「自然なすがた」、「ゆたかな生物」、「水のきれいさ」、「水辺環境」、「地域とのつながり」の5項目が記載された調査票を使用し、項目毎に点数をつけます。

調査項目	調査方法	評価基準	調査結果
水質	透視度計を用いて測定する。	透視度1.0以上	5点
生物	水生昆虫の観察を行う。	水生昆虫が観察できる	5点
水辺環境	水辺の景観を観察する。	水辺の景観が良好である	5点
地域とのつながり	地域住民との交流を行う。	地域住民との交流が盛んである	5点



★南郷床固群



★溶存酸素の測定

丸沼堰堤(ダム)見学



★昭和初期に全国で8基のみ建設されたバットレスダムという形式★現役で発電に利用★国の重要文化財

野外学習「南郷床固群」、「摺溜床固群」見学

★魚が砂防施設の上下流を
行き来できるように魚道を整備



摺溜床固群



丸山 文二
片品出張所長



★ダム天端にて見学



アンケート

結 果

- ・現地での河川環境調査の体験はとても参考になった。
- ・摺溜床固群の景観がすばらしい。
- ・河川環境は風土、治水、治山を一体で考えることが重要であると認識した。
- ・床固群の効果を学ぶことができた。
- ・物資不足の時代に創意工夫により巨大なダムを完成させたことに感心。(丸沼堰堤)